

高知県

地域で進める地域移行

高知県では、関係機関職員を対象とした研修会の実施やピアサポーターの養成、実践支援など、人材の育成に取り組むとともに、地域での取り組みや活動を支援しています

1 県又は政令市の基礎情報

高知県



取組内容

- H16～H23：精神障害者退院促進支援事業
⇒精神障害者地域移行支援特別対策事業
- H23～H25：アウトリーチ推進事業（2ヶ所）
- H27～：啓発劇などの啓発活動（一圏域）
- 関係機関の連携支援体制の充実強化に向けた取組
（H27：一圏域→H28：二圏域→H29：三圏域(予定)）
- 人材育成
H24～：ピアサポーターの養成
H24・H27～：研修会の実施

基本情報

障害保健福祉圏域数（H29年5月末）	4カ所		
市町村数（H29年5月末）	34市町村		
人口（H29年5月1日）	715,564人		
精神科病院の数（H29年5月末）	24病院		
精神科病床数（H29年5月末）	3,622床		
入院精神障害者数 （H28年6月末）	3か月未満：642人（21.8%）		
	3か月以上1年未満：487人（16.5%）		
	1年以上：1,820人（61.7%）		
	うち65歳未満：589人		
	うち65歳以上：1,281人		
退院率（H28年5月末）	入院後3か月時点：61.6%		
	入院後6か月時点：80.3%		
	入院後1年時点：86.6%		
相談支援事業所数 （H29年3月末）	基幹相談支援センター：0		
	一般相談事業所数：24		
	特定相談事業所数：90		
障害福祉サービスの利用状況 （H29年3月）	地域移行支援サービス：1人		
	地域定着支援サービス：6人		
保健所（H29年5月末）	6カ所（県：5ヶ所、中核市：1ヶ所）		
（自立支援）協議会の開催頻度 （H28年）	0回/年		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の有無と数	都道府県	無	
	障害保健福祉圏域	無	
	市町村	無	
精神保健福祉審議会 ※H18年2月に廃止	別に精神保健福祉協議会を設置 1回/年、委員数9人		

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

- 地域移行・地域定着支援研修会の実施
相談支援事業所、精神科病院等関係機関職員を対象に開催
参加者：H24：45人
H27：プレ研修 29人 本研修 一日目 72人、二日目 64人
H28：96人
- ピアサポーターの養成
交流会や研修会通じ、ピアサポーターの養成やスキルアップを行い、体験発表などの活動を継続して行う
また、サロンを開催、運営するなど活動の広がりを目指す
- 圏域での啓発活動、関係機関の連携支援体制の充実強化に向けた取組
啓発劇による広報・啓発活動：一圏域（リーフレットの作成も予定）
連携支援の充実強化に向けた取組：二圏域 ＋ 一圏域実施予定（検討中）
- 中核市（高知市保健所）の取組
精神障害者地域移行支援者会議「地域いこうかい」
事例検討会やピアサポーター養成研修などの実施

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に取り組む市・圏域（例）

関係機関の役割		
市町村ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	(〇〇市の場合)
	協議の内容	
	協議の結果としての 成果	
障害保健福祉圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	(〇〇圏域の場合)
	協議の内容	
	協議の結果としての 成果	
都道府県ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	
	協議の内容	
	協議の結果としての 成果	

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

- H16～H23 精神障害者退院促進支援事業
⇒精神障害者地域移行支援特別対策事業の実施
- H23～H25 精神障害者アウトリーチ推進事業
(精神科病院1ヶ所、地域活動支援センター1ヶ所)
- H24 地域移行・地域定着支援研修会の実施
参加者：45人
- H24～ ピアサポーター養成開始
病院等での体験発表、交流会の実施
- H27～ 地域移行・地域定着支援研修会の実施
H27 プレ研修 29人 本研修 一日目72人、二日目64人
H28 96人
- H27～ 圏域での広報・啓発活動、連携支援体制の充実強化への取組
(2圏域)
- H27～ 中核市(高知市保健所)の取組
高知市精神障害者地域移行支援者会議「地域いこうかい」
事例検討会の実施、ピアサポーターの養成など

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組における強みと課題

特徴(強み)

1. 平均在院日数が短い【全国6位】(平成27年病院報告)

課題

1. 圏域により違いがある(取り組みの差、社会資源量)
2. 地域移行支援、地域定着支援の実績が少ない
3. 協議の場が少ない

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた指標の推移

NO	指標	平成26年度	平成27年度	平成28年度
①	1年以上の精神科病院在院患者数(人) (各年6月30日現在)	1,869	1,847	1,820
②	各年度 地域移行支援利用者数(実人数)(人)	—	—	—
③	②のうち、退院した者の数(実人数)(人)	—	—	—
④	ピアサポーターの養成者数(実人数)(人)	—	—	7
⑤	④のうち、活動している者の数(実人数)(人)	6	5	5

【記入上の留意点】

- ③について ※利用年度の翌年度以降に退院した者については、利用年度に計上して下さい。
※退院後に再入院となった者については、退院した者(1人)として計上して下さい。
- ⑤について ※養成年度以降に、実際の活動を開始した者については、養成年度へ計上して下さい。

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた 平成29年度の取組スケジュール

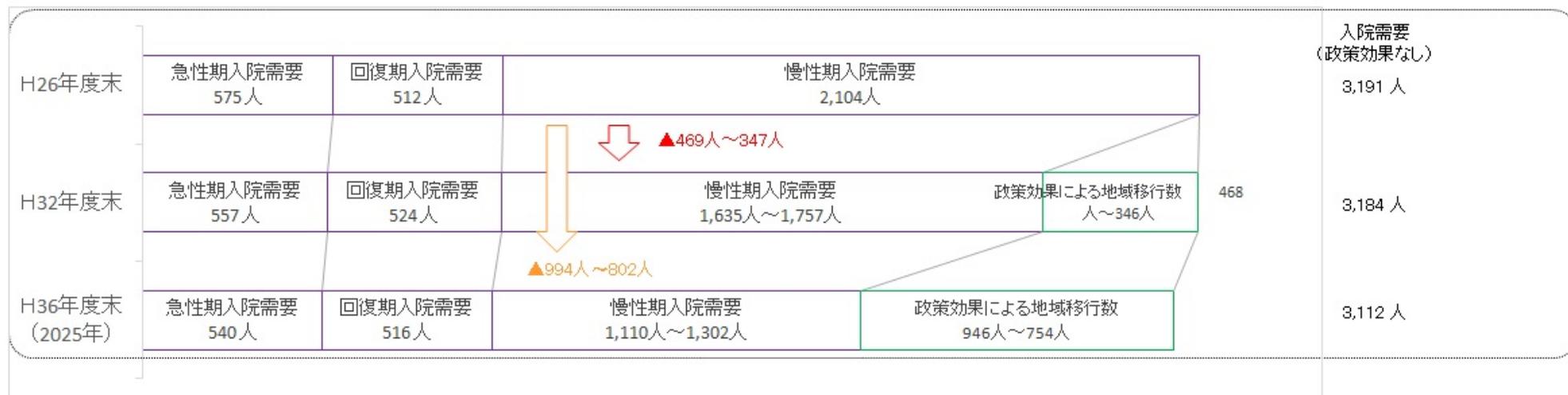
平成29年度の目標

1. 圏域での地域移行・地域定着に向けた連携支援体制野の充実強化の推進
2. ピアサポーターの養成と活動支援
3. 精神障害者地域移行・地域定着のための人材育成研修の実施

時期(月)	実施内容	担当
通年	圏域での取組の推進 ・啓発劇の実施 ・リーフレットの作成・配布ほか、広報・啓発 ・地域移行・地域定着支援の取り組みの実施 ・関係機関の連携支援体制の充実強化	1圏域 // // 3圏域(予定)
通年	ピアサポーターの養成・活動支援 ・研修会、交流会の実施 ・サロン運営の実施	障害保健福祉課
2月頃(予定)	人材育成研修の実施	障害保健福祉課

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた目標設定(高知県)

- 政策効果を見込まない将来の入院需要を推計し、①「地域移行を促す基盤整備」、②「治療抵抗性統合失調症治療薬の普及」、③「認知症施策の推進」による政策効果を差し引いて、入院需要の目標値を設定



平成36年度末(2025年)までの政策効果の見込みの内訳

政策	地域移行する長期入院患者数の見込み(政策効果)	人数
① 地域移行を促す基盤整備	継続的な入院治療を要する長期入院患者(認知症除く)以外 (長期入院患者(認知症除く)の30~40%)	562人~425人
② 治療抵抗性統合失調症治療薬の普及	継続的な入院治療を要する長期入院患者(認知症除く)の25~30%	262人~244人
③ 認知症施策の推進	認知症による長期入院患者の13~19%	122人~85人
		946人~754人